

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2005-289050

(43)Date of publication of application : 20.10.2005

(51)Int.Cl.

B43M 11/02

(21)Application number : 2005-063026

(71)Applicant : YAMAGUCHI HARUKO

(22)Date of filing : 07.02.2005

(72)Inventor : YAMAGUCHI HARUKO

(30)Priority

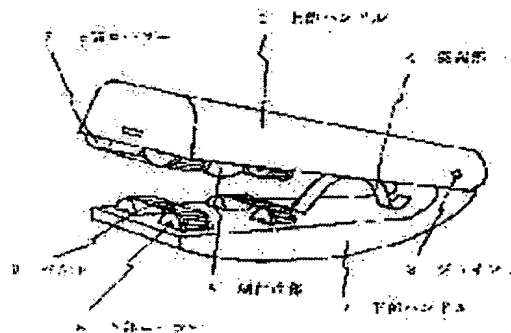
Priority number : 2004114795 Priority date : 12.03.2004 Priority country : JP

(54) STATIONARY FOR STARCHING WITHOUT STAINING HANDS

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To starch without using incidental tools by dissolving such a problem that paper which may be stained is formerly used as an underlay on a pedestal of a desk or the like and the purposed paper is laid thereon to be starched.

SOLUTION: To the stationary, an upper handle 1 and a lower handle 2 which are connected with a joint 3 are provided. To the upper handle 1, a fastener 11, a starching hole 13, a hole 14 for projection part, a partition 15, a belt 9, a middle plate 12 provided with an upper roller 7, a starching part 6, a starch container 5, provided with a cover 10, a mark 16, a rail 18, and a starch pressure adjusting window 17 are provided. An under part roller 8 and a projection part 4 are provided to the lower handle 2 to compose the stationary.



(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-289050

(P2005-289050A)

(43) 公開日 平成17年10月20日(2005.10.20)

(51) Int.Cl.⁷

B43M 11/02

F I

B43M 11/02

テーマコード (参考)

審査請求 有 請求項の数 1 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2005-63026 (P2005-63026)
 (22) 出願日 平成17年2月7日(2005.2.7)
 (31) 優先権主張番号 特願2004-114795 (P2004-114795)
 (32) 優先日 平成16年3月12日(2004.3.12)
 (33) 優先権主張国 日本国(JP)

(71) 出願人 596043977
 山口 治子
 千葉県船橋市栗円台5-23-10 ライ
 オンズマンション船橋東104号
 (72) 発明者 山口 治子
 千葉県船橋市栗円台5-23-10 ライ
 オンズマンション船橋東104号室

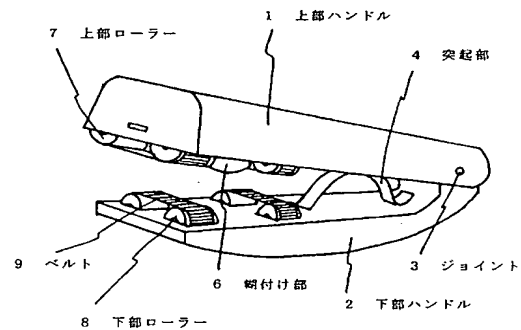
(54) 【発明の名称】 手を汚さないで糊を付ける文房具

(57) 【要約】

【課題】 従来、机等の台座に汚れてもよい紙を下敷きにしてその上に目的の紙を置き、糊を塗っていた。本発明は付帯道具を使わずに糊付けできるようにすることを課題とする。

【解決手段】 ジョイント3でつないだ上部ハンドル1と下部ハンドル2を設け、上部ハンドル1に留め具11と糊付け部用穴13と突起部用穴14と仕切り15とベルト9と上部ローラー7を設けた中板12と糊付け部6とフタ10を設けた糊容器5とマーク16とレール18と糊圧調整窓17を設け、下部ハンドル2に下部ローラー8と突起部4を設けたことを特徴とする。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ジョイント 3 でつないだ上部ハンドル 1 と下部ハンドル 2 を設け、上部ハンドル 1 に糊付け部 6 を設けた、手を汚さないで糊をつける文房具。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、手を汚さないで糊を付ける文房具の技術に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、机等の台座に汚れてもよい紙を下敷きにしてその上に糊を付ける目的の紙を置き、糊を塗っていた。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

しかしこれには、次のような欠点があった。

(イ) 糊を効率的に塗るためには台座や下敷きなどの付帯道具が必要であった。

(ロ) 糊シロの端まで塗るためにははみ出て塗らないといけなく下敷きに糊が付くため、大量の糊付け作業をする際には不便であった。

(ハ) どうしても下敷き等にはみ出て塗られた糊が手などに付き汚れやすかった。

そこで、本発明は付帯道具を使わずに糊付けできるようにすることを課題とする。

【課題を解決するための手段】

【0004】

ジョイント 3 でつないだ上部ハンドル 1 と下部ハンドル 2 を設け、上部ハンドル 1 に留め具 11 と糊付け部用穴 13 と突起部用穴 14 と仕切り 15 とベルト 9 と上部ローラー 7 を設けた中板 12 と糊付け部 6 とフタ 10 を設けた糊容器 5 とマーク 16 とレール 18 と糊圧調整窓 17 を設け、下部ハンドル 2 に下部ローラー 8 と突起部 4 を設ける。本発明は、以上のような構成よりなる手を汚さないで糊をつける文房具である。

【発明の効果】

【0005】

本発明の手を汚さないで糊をつける文房具は台座や下敷きなどの付帯道具を必要とせず、ローラーによって糊付け方向がコントロールしやすく、糊付けしたい部分を端から端まで簡単にきれいに糊付けができる。また付帯道具を使わないので糊が要らない所にくっついたりせず手を汚さずに済み、大量の反復作業を必要とする事務作業には特に能力を発揮する。

【発明を実施するための最良の形態】

【0006】

この発明の一実施形態を図 1 に示す。

(イ) 液状の糊が入った糊容器 5 の先端側部に糊が出る糊付け部 6 とフタ 10 を設ける。

(ロ) 糊付け部 6 の周囲に配置した上部ローラー 7 と留め具 11 と糊付け部用穴 13 と突起部用穴 14 と仕切り 15 を設けた中板 12 を設ける。

(ハ) 上部ローラー 7 は糊付け部 6 にかからないようにゴム等でできたベルト 9 でつなぐ。

(ニ) 上部ハンドル 1 にレール 18 を設け、スライド式等で開閉する糊圧調整窓 17 を設ける。

(ホ) 上部ハンドル 1 にある上部ローラー 7 と対になる下部ローラー 8 を設けた下部ハンドル 2 を設ける。下部ローラー 8 にもベルト 9 を設ける。

(ヘ) 下部ハンドル 2 に上部ハンドル 1 に設けた糊容器 5 を押すためのバネ式の突起部 4 を設ける。

10

20

30

40

50

(ト) 上部ハンドル 1 と中板 1 2 と下部ハンドル 2 をジョイント 3 でつなぐ。

(チ) 糊付け部用穴 1 3 に糊付け部 6 を差し込み、糊容器 5 を中板 1 2 の上に取り付ける。

(リ) 上部ハンドル 1 と中板 1 2 は留め具 1 1 で固定する。

(ヌ) 上部ハンドル 1 に糊が着く位置を示すマーク 1 6 を入れる。

本発明は以上のような形態で、使用する時はマーク 1 6 を目安にして糊付けをスタートしたい位置を決め、その位置で上部ハンドル 1 と下部ハンドル 2 を押し合うことで、上部ローラー 7 と下部ローラー 8 で紙を挟み固定し、横にスライドさせることで糊付け部 6 の糊をつける。また糊付けを止めたい場合はスライドを止め上下ハンドルの力を緩めることで突起部 4 の作用で上下ハンドルを離れた状態に戻す。

更に突起部 4 が糊容器 5 を押すことで糊を押し出す助けをするが糊の残量が減って圧力が不足した場合、糊圧調整窓 1 7 を開いて糊容器 5 を指で直接押しながら糊付けすることで糊の出方を調整する。

本発明は使用しない時は糊付け部 6 の乾燥を防止する為にフタ 1 0 を装着する。更に液ダレを防止する為に上部ハンドル 1 を下にして保管する。よって本発明はユーザーが下部ハンドル 2 を下にして置きづらいデザインにする。

糊がなくなった時は中板 1 2 の留め具 1 1 を外して上部ハンドル 1 と中板 1 2 を開いて糊容器 5 を取り替える。

尚、上記の糊容器 5 は利便性を考えカートリッジ式で交換できるタイプを想定しているが、製作コストを抑える為に固定式とする方法もある。

例外的にハンドルの長さより離れた場所に糊を付けたい場合、上部ハンドル 1 と下部ハンドル 2 を開けて上部ローラー 1 だけを使い糊付けする。この場合、糊圧調整窓 1 7 を開けて指で押しながら糊の出る圧力を調節しながら糊付けする。

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図 1】本発明の全体を表す説明図である。

【図 2】本発明の一部を切り欠いた斜視図である。

【図 3】本発明の中板を開いた状態の説明図である。

【図 4】本発明を先端から見た説明図である。

【図 5】本発明の上部ローラーの説明図である。

【図 6】本発明の下部ローラーの説明図である。

【図 7】本発明のマークの説明図である。

【符号の説明】

【0008】

- 1 上部ハンドル
- 2 下部ハンドル
- 3 ジョイント
- 4 突起部
- 5 糊容器
- 6 糊付け部
- 7 上部ローラー
- 8 下部ローラー
- 9 ベルト
- 10 フタ
- 11 留め具
- 12 中板
- 13 糊付け部用穴
- 14 突起部用穴
- 15 仕切り
- 16 マーク

10

20

30

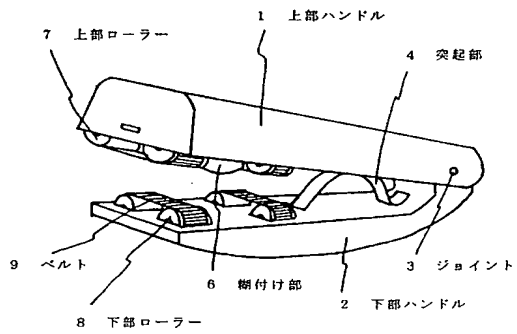
40

50

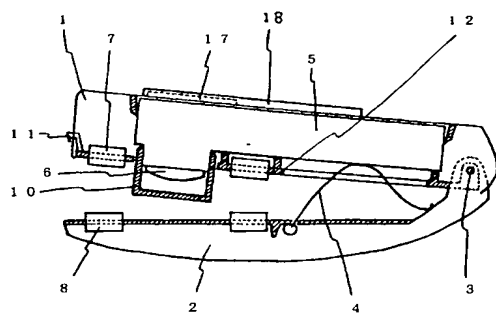
17 糊圧調整窓

18 レール

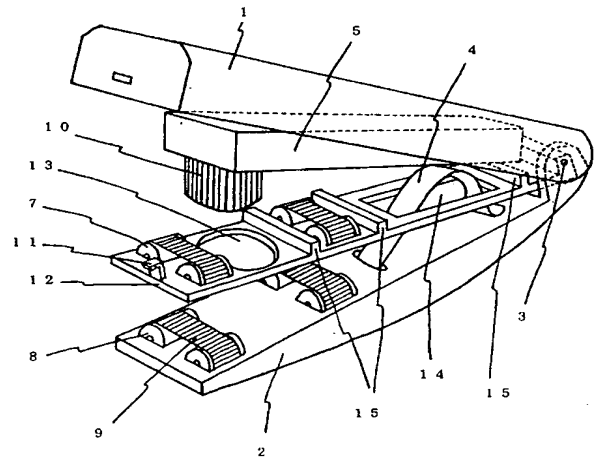
【図1】



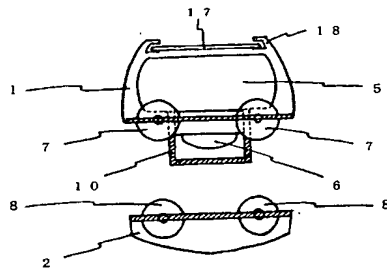
【図2】



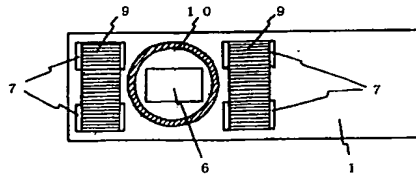
【図3】



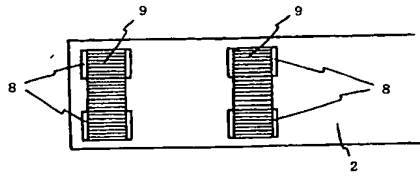
【図4】



【図 5】



【図 6】



【図 7】

